

## 「あなたの後悔、失敗談を教えてください！」

今秋、本誌では通信員（読者モニター）の皆さまへ次のアンケートを実施しました。

あなたご自身のこれまでの振り返って、家庭経済、健康づくり、仕事、人づきあい、相続、住宅関連、子育て、介護、家族関係、学び直しなどライフプランとして「こんなことをしておけばよかった」「こうしなければよかった」と思うことについて、300字以内でお答えください。

ここでは、お寄せいただいたご回答の中からスペースの許す限りをご紹介します。



もう少し早く子どもを持てば良かった 年を取ると、子育てへのパワーが落ちて辛い。(40代・男性)

夫婦とも地元ではない地方で就職しました。夫婦の勤務先が離れていて、車なしでは生活できない地域だったため、当時の双方の勤務先の間地点で高速のインター近くに広い土地を買い、一戸建てを新築しました。大型ショッピングモールや飲食店が立ち並び生活は便利ですが、駅は遠くバス便が少なく、子どもたちの高校通学がとても大変でした。いずれ年を取って車に乗れなくなると生活が立ち行かないため、住み替えが必要になることが反省点と課題です。(50代・女性)

2点あります。まず、結婚直後にファイナンシャルプランナーに家庭経済について相談しておけばよかったと思います。これから先の人生を見据えた家庭経済の計画を、しっかり立てておくべきだったと感じます。結婚当初は共働きで、ずっと働き続けるつもりでいたのですが、その後子育てや介護との両立ができず、結局夫一人の収入に頼る生活になってしまいました。次に、新卒で採用された正社員の仕事を、どんな状態になっても、しがみついても続けておけばよかったということです。もっと夫婦で話し合い、協力して家事をするようにしておけば、私も仕事を続けられたのにと、大変後悔しています。遠慮ばかりしていた過去の自分を反省しています。(50代・女性)

住宅新築に当たり、土地区画整理事業による仮換地というものを購入したのですが、前所有者（不動産会社）との間で、土地区画整理組合に納める清算金をめぐって紛争となりました。契約書の記載が曖昧な上、不動産会社が組合と対立関係にあったために、それに巻き込まれた形です。最終的に弁護士に相談して私の負担はない形で解決に至ったのですが、費やしたエネルギーは多大でした。(50代・男性)

もっと早く投資の勉強を始めておけばよかった。息子の大学時代のアパートをもっと高いところに住ませてあげればよかった。その時は先のことが不安だったため安いところに決めただけ、もっとお金をちゃんと計算してそれなりのところに住ませてあげればよかった。(50代・女性)

高校進学時、今のように情報がすぐに取りれる時代ではなかったので、もう少しじっくり研究して進学先を決定すれば良かったと後悔している。(50代・男性)

自由恋愛で知り合った相手と、30代後半と遅い結婚をしたので、20代の時コンパに行くため買った大量の服代、デパートで購入した靴代、出会いを求めて入った3件の結婚相談所のお金が無駄だったなと思いました。このお金、トータルしたら300万円くらい使ったと思いますが、残しておけば、結婚した現在、子供の教育費や習い事に存分に使えたなと思います。(40代・女性)

子育てと友達作りをもっと意欲的にすれば良かったと、今になって思います。働き盛りだと仕事を最優先にしがちですが、仕事は上司によって運・不運があります。どんなに誠実に仕事をして上司から仇で返されることもあります。でも、子育ては裏切られることはありません。これからは将来に向かって後悔しない生き方をしたいと思い、転職して新天地で生活しています。(40代・男性)

海外でバイトをして貯めたお金で、語学学校へ通おうと入学を申し込みました。学校側からの推薦で、よりレベルの高いクラスへ変更したのですが、差額分10万円ほどを入金した後、クラスが始まってみると教師と相性が合わず、1週間もせずに退学してしまいました。今考えれば、クラスを変えとか何かやり方があったはずなのに、あの時の私はなぜ退学を選んでしまったのだろうと反省しています。自分で稼いだお金だったこともあり、お金に対して「ま、いっか」という思いが働いたかもしれません。今ではかなり高額な人生の授業料だったと思っています。(30代・女性)

もっと早くから、投資をしていればよかった。NISA 制度ができる前から、投資はあったわけで…。20 代のころから少額でも投資をしていれば、今ごろサイド FIRE くらいはできていたかも…。20 代のみなさん！少額でもいいので、NISA で積立したほうがいいですよ！もちろん投資の勉強は必要です！（40 代・女性）

自分自身のこれまでを振り返って、やっぱり株で大損した失敗は悔やめます。株を購入していた証券会社が倒産して、大損しました。損切りをためらったことや、自分の知識不足で人に言われるままに投資したことなどが原因ですが、この失敗を防ぐためには、株のリスクを理解し、投資対象の情報を十分に収集し、分析することが大切だったと思います。万が一損失を出してしまった場合は、損切りを検討したり、確定申告で損失の繰越控除を活用すればよかったと反省しています。（50 代・女性）

持ち家を売却して老後に住みやすい場所へ移りたかったのですが、計画が甘く、売却、購入とも上手くいきませんでした。やめておけば良かったと思います。転居は自分の希望だったので、今更何も言えませんが。（50 代・女性）

資金管理や資金計画を立てて生活設計をしていればよかったと思います。それなりにお金があると、資金管理が甘くなり、生活資金が枯渇してしまいました。この問題に対処するためには、日々のお金の入出金を記録し、お金の見える化をすることです。現実をみるとお金の使い方をよく考えるようになります。日々のお金の記録を頼りに、収入の少ないシニア世代を生き抜きたいと思います。（60 代・女性）

将来を考えて貯蓄していたが、元気なうちに旅行に行ったり遊んだりした方が良かったと思う。年を取ると体の具合が悪くなったりして、旅行にも行けなくなってしまった。（50 代・女性）

現役の時は、今のようにワークライフバランスという考え方もそれほど浸透していなかったもので、どうしても仕事中心の生活になっていました。そして、時間のないことを理由に、自分の趣味や興味のあることについて深めることができなかったのは、とても残念に思っています。もとより、時間は自分で作るべきですが、そうするためのノウハウを完全に身につけていたわけでもなく、時間の大切さを今更ながら認識し反省しています。若いうちは、時間があると思っていても、過ぎてみればあっという間だと感じます。たった一度の人生だから悔いのないように毎日を過ごしていきたいと思います。（60 代・男性）

夫婦の老後（将来）の生活に対しての話し合いを、もっと早い段階からしておけばよかったと思います。自分一人のことなら、家計や学びなおしに関する修正は今からでもできます。しかし、相手のいる問題に齟齬があると、修正なり折り合いをつけるのは、たとえ夫婦でもなかなか難しいと感じています。（50 代・男性）

子育てと地域の仲間作りに、もう少し早く積極的に参加すれば良かった。（50 代・男性）

3 年前に父にステージ 4 の癌が見つかり、1 年闘病したものの、75 歳目前であつという間に亡くなってしまいました。「もっといろんな話をしてあげればよかった」「もっといろんなところに旅行に連れて行けばよかった」など考えてしまい、立ち直るのに時間がかかりました。「いつかやろう」「そのうちチャンスが来る」と思っていたのですが、そんな都合のいい「いつか」は来ないことを学びました。私も気づけば 50 歳を過ぎ、自分の老後がおぼろげに見えてきました。やらなかった後悔をできるだけしないように、「思った時に動く」ことを心がけています。（50 代・男性）

将来の生活のため、投資など貯蓄以外の財テクして積極的に積み立てておきたかった。（40 代・女性）

貯金について後悔しています。独身時代は自宅から通勤し正社員だったので、もっと貯金をしてあげればよかった！「余ったら貯める」というスタンスではいけない。ジム通いや習い事、映画鑑賞に海外旅行など趣味や交際費にお金を使い、外食も多かった。学校でも金融資産について習う機会はなく、若い頃にもっと知識があつたらと思います。（50 代・女性）

定年間際の今、思うことは、家にある物を捨てられないことです。健康器具、本、趣味の道具類…それぞれに思い出があるので、買ったこと自体はいいのですが、使わなくなったのに捨てられないことが問題です。そして、転勤の都度、ダンボールに詰め込み、開かずのダンボールが増えて行きました。そろそろ断捨離を始めないと、大量のガラクタ処理を子供に背負わせることになりかねません。少しずつでも始めたいです。（50 代・男性）

貴重な体験談をお寄せいただき、誠にありがとうございました。